

千代田区男女共同参画センター情報誌

MIW通信 49

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。
MIはman（男性）、WIはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

2021



MIW マスコット
キャラクター
みゅうじろう



永里優季さん（サッカー女子元日本代表選手）
2011年W杯優勝、2012年ロンドンオリンピック銀メダル。2020年9月から神奈川県男子チーム「はやぶさイレブン」に期限付きで移籍し活躍。

千代田区は東京2020オリンピック・パラリンピックを応援します。

◇スポーツで輝くアスリートにきく…p2

永里優季さん
男子チームで
ジェンダーを超える挑戦

◇特集

スポーツとジェンダー…p4
宮嶋泰子さん / 益子直美さん



HOST CITY



アメリカの女子プロリーグで活躍しているサッカー女子元日本代表の永里優季選手が、2020年9月から、神奈川県2部の男子チーム「はやぶさイレブン」に期限付きで移籍しました。10月に公式戦デビューを飾り、4試合に出場しました。小学生までは男女ともに練習していますが、男子と女子のサッカーでは身体の大きさや体力差などから中学校からは別々になり、差は広がっていきます。そうした状況で、永里選手の男子チームへの挑戦は世界的にも話題になりました。この挑戦で、どのような事を感じ、何を得たのかなど、永里選手の思いを伺いました。

スポーツで輝くアスリートにきく

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

男子チームでジェンダーを超える挑戦

ながさとゆうき
永里優季さん（サッカー女子元日本代表選手）

プロのサッカー選手になりたい！

— 永里選手とサッカーのこれまでについて

小学校1年の時に、兄の影響でサッカーを始めました。ドリブルやリフティングが出来るようになるのが楽しかったです。地元女子チーム*を経て、中学から『日テレ・メニーナ』*へと進み、東京・稲城市の練習場に片道1時間半かけて通いました。中学生の頃は、日本ではプロになれる環境がなかったたので、プロになるためにアメリカに行きたいと思っていました。16歳で日本代表に選ばれましたが、正直、周りからの重圧が辛かったです。選ばれたからには結果を出さなくてはと、練習後も一人残って毎日ゴールにボールを蹴り続けていました。帰宅は夜

中になりました。

— 海外で学んだことは？

2010年にドイツに渡り、そこからイングランド、アメリカ、オーストラリアと4カ国でプレーしてきました。海外のチー

ムでは、自分のことだけでなく、チーム力を上げて結果を出す事を学びました。自分が周りの選手から何を求められているかを知り、動く。周りを活かすことは自分を活かすことだと気づき

*『FC 厚木レディース』

** 読売サッカークラブの女子チーム「ベレーザ」の下部組織。中学1年生から高校3年生までが所属。2020年シーズンから名称が「日テレ・東京ヴェルディメニーナ」と変更。



男子チーム「はやぶさイレブン」で永里選手は、どれだけ多く得点するかは気にせず、1分でも多く、長く、試合に出ることを目標にしていたとのこと。

永里優季さん



1987年生まれ、神奈川県厚木市出身。小1の時からサッカーを始める。2004年、16歳で日本代表。2010年、22歳でドイツのプロ女子チームに移籍。2011年W杯優勝、2012年ロンドンオリンピック銀メダル。2020年9月、米国のサッカーリーグ「シカゴ・レッドスターズ」に在籍中に、神奈川県の男子チーム「はやぶさイレブン」に同年12月まで移籍。2021年1月から米国の「レーシング・ルイビル」へ移籍。ポジションはフォワード。アメリカではドラムを叩きバンド活動もしている。



永里選手が男子選手とプレーする際の技術で重視したのは、ボールをきれいに収める「トラップ」。体の重心位置を上げてボールの上半分に触るとボールが跳ね返らずうまく止まるそうです。

ました。

また、ヨーロッパとアメリカのチームではスタイルが違いました。ヨーロッパは結果を出すことがすべてという考え方が強く、その一方で、アメリカは、結果は一部にすぎず、プレーする人も見る人も、楽しむ感じでした。それまで勝敗にこだわっていたので、アメリカでの刺激が強く、勝敗やゴールの数字だけが目標でいいのかと思い始めました。

目標が自分の外ではなく内側になり、自分の成長とか、何

に幸せを感じるかに気持ちが変わるようになりました。それまでは私の人生はサッカーがすべてでしたが、サッカーが人生の一部に感じられるようになったのです。

挑戦 男子チームでのプレーに

— 2020年秋に、男子チームに移籍されました。きっかけは？

以前から漠然と、男子チームでプレーしたいと思っていました。アメリカの女子チームでプレーしていて、自分の力があ

がってきたのを感じ、スピードやフィジカルで勝る相手と競ってサッカーの技術を磨きたいと思い、オフの期間を利用して男子チームに移籍しました。

アメリカでプレーをしていた10年ぐらい前から、勝敗とか結果を追い求めるのではなく、今よりも自分の高みを目指す、可能性を追求するという「究極の目標」を立てていたの、それを達成するための一つとして、男子チームでプレーすることにチャレンジしました。

— 実際にプレーしての感想は？

確かに男性は女性よりは速い

し、パワーがあるとは思いますが、私は男子選手とスピードや体力で差があると感じることはありません。私自身、男子選手とプレーしていて自分の良さを活かせる場面が作りやすく楽しいです。相手や味方をよく見て次の動きを予測して、ポジションニングする。そこでは男女の差は全くないと思います。先の読みと反応の速さは、他の男子選手にも劣らないことが、自分の強みだと思います。

— 読者の皆様にメッセージを

男子チームに移籍した時、英国にいる日本人女性から激励の手紙をもらいました。「永里選手のチャレンジに勇気をもらいました」と。その時、自分の行動が、チャレンジへの抵抗感をなくすメッセージになっていたと気づきました。オリンピックという世界の舞台は若い人たちが成長させてくれる場でもあり、スポーツをしている自分自身やチームが魅力的な存在になれる場です。多くの人たちが、自分なりの目標に向かってチャレンジすることが大事。オリンピックがそのきっかけになってくれたらと思います。

スポーツとジェンダー

女性たちの活躍とジェンダー視点から見てくると



今年の夏開かれる東京 2020 大会*。女性の参加率が「48.8%」と過去最高となることが見込まれ、女性アスリートの活躍が期待されます。オリンピックを通して見える女性たちの活躍、女性の視点から見てきたスポーツのあり方について、考えます。

一人ひとりが スポーツに向き合う

みやじまやすこ
宮嶋泰子さん (スポーツ文化キャスター)



オリンピックを 19 回取材し続けてきたスポーツ文化キャスターの宮嶋泰子さんに、女性アスリートの活躍と、スポーツと私たちの関わりについて伺いました。

オリンピックと女性アスリート

◆オリンピックへの女性たちの参加について

19 世紀の末、オリンピックはクーベルタンンの提唱で始まりました。その当時は帝国主義、植民地主義の時代で、植民地を支配する男性の体力増強のために、オリンピックが始まったという時代背景があります。

また、「女性の役割は勝者に冠を授けること」とクーベルタンは言っていて、彼は最後まで女性がオリンピックに参加することに反対でした。

20 世紀になると、参政権運動などで、女性たちは権利を主張し始めましたが、女性たちはなかなかオリンピックに参加できませんでした。1900 年の第 2 回パリ大会に、テニスとゴルフにだけ女性の参加が許されたものの、陸上競技は、1928 年の第 9 回アムステルダム大会まで、参加できなかったのです。

◆陸上競技への女性の参加について

「女性も、陸上競技でオリンピックにでたい」とフランスのアリス・ミリアさんが要望しましたが、IOC に拒絶されていました。そこで、女性たちは女性だけで、初の女子陸上競技の世界大会を「女子オリンピック」と命名して開いたのです。2 回目の大会からは、オリンピック委員会が慌ててオリンピックという名前を使うことを禁じたようです。1922 年から 1934 年までの間に 4 回開催されました。第 1 回が 1922 年フランスで開かれ、イギリス、フランス、イタリア、スイス、アメリカの 5 か国が参加しました。1926 年第 2 回はスウェーデンのヨーテボリでした。この時は日本も参加し、人見絹枝さんが走り幅跳び、立ち幅跳び、円盤投げで 2 位、個人総合 1 位になりました。女性たちは拒絶されたら、自分たちの手でオリンピック

* 文中では東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を東京 2020 大会と表示。

を作った。すごいでしょう。
この女性だけの国際大会が人
気になって、I O C は慌てて、
1928年の第9回アムス
テルダム大会で、オリンピック
クの陸上競技に女性の参加を
認めたのです。この時、人見
絹枝さんが800メートルで
銀メダルを取りました。オリ
ンピックと女性の歴史にはこ
うした厚い壁があったことを
知ってもらいたいです。

◆女子とマラソンについて

女子マラソンがオリンピック

競技に入ったのは、1984年
です。私は1979年の東京
国際女子マラソンを取材してい
ますが、日本陸連はこの大会
のために、この距離を走れそう
な女性を集めて合宿しました。
当時は専門的にマラソンをし
ていた女性はいなかったのだ
す。7位入賞の村本みのるさ
んも新聞配達しながらジョギ
ングをしていた女性です。

そのレースを見て来ていた
国際陸連の女子委員長マリ
・ハートマンさんが感激し、女



子マラソンをオリンピック種
目に入れたいとI O C に提
案し、実現したのです。

それまで、女性が42195
キロを走れるはずがないと言
われていました。というのは、
女子の陸上競技が初めてオリ
ンピックに入った1928
年のアムステルダム大会で、
800メートルのレース後に
全員が倒れてしまい、国際陸
連は驚いて、女性が200メー
トル以上長い距離を走るの
は無理と、中長距離競技を全部
禁止してしまったのです。で
すから、女子の長距離競技に
は、何十年という間のブラン
クがあるのです。

日本の女性アスリートの現状

◆日本での女性アスリートの壁について

日本の場合、女子選手を
指導するのが男性コーチだっ
たことが壁のひとつとしてあ
げられます。生理や女性の体
の変化をわかってもらえない
例えば、競技によっては「や

せたほうがいい」と言われま
すが、摂取エネルギー量より
も消費エネルギーの方が多く
なると、ホルモンの狂いが生
じて生理がとまります。そう
した問題に男性コーチは敏感
に対応できないし、女子選手
も言いたくないことが、壁と
なりました。

日本では明治5年(1872
年)に、スポーツが教育科目
の体育として入って以来、教
えるのは学校の先生で、生徒
との間に、ヒエラルキーがあ
りました。体育からスポーツ
に変わっても、上からの指導
という構造は変わらない。体
育会系のなかのヒエラルキー
は男女問わず、今でも問題で
す。

また、女性がプロフェッショ
ナルとしてスポーツをする時
代になっても、コーチの上から
の指導が重要視されます。

一方、海外では、選手とコー
チがもっと平らな関係で、一緒
の目標に向かって取り組んでい
ます。大坂なおみさんは彼女



2012年のロンドンオリンピックで取材する宮嶋さん

自身でコーチを替えていたことが、もし彼女が日本にいたらどうだったかと思えますね。
さらに、「アンコンシヤス・バイアス」と言われる無意識の偏った見方も課題です。「本

当に女性がこのスポーツをやりたいの？ 女性はマネージャーでいいんじゃない」との無意識の差別がまだまだあるところが、欧米と違うところ

◆女子も活躍するようになった競技について

サッカーやラグビー等、女子も活躍する競技が増えました。けれど、中学校のスポーツの全国組織である中体連に、女子サッカーが入っていないことをご存じでしょうか？ 小学生までは女子は男子と一緒にサッカーをしますが、中学生になると男女別々になる。でも、校庭の広さは限られていて、女子サッカーの練習場を作れない等の理由から、女子のチームがある中学校は、本当に少ないのです。女子でサッカーをしている中学生は、ほとんど地元のクラブに所属しています。高校生になると、女子高校があり女子チームが作れるので、高体連には女子サッカーは入っています。

オリンピックのことを話題にするのもいいですが、スポーツに関して身近なことを考えて欲しいですね。ワールドカップで世界一になった国で、中体連に女子サッカーがないなんて、おかしいと思いませんか？ 地元のクラブに行ける女子だけがサッカーができるというのは、まだまだ男女平等ではありません。

◆女性アスリートの取材を通して感じたことは？

女性アスリートを取材してテレビ番組を作ってきました。たとえば、「聖子25歳」という番組は、橋本聖子さんを取材して作りました。高卒で富士急行に入ってスピードスケートを7年ぐらいやった25歳の時、聖子さんは「そろそろじゃないの」と肩をたたかれました。「女性が25歳になったら競技から引退する」との時代だったのです。その後、聖子さんは冬と夏の両方のオリンピックに出場し活躍されましたが、社会現象とスポーツ界

で起こっていることは本当にリンクしていると思いました。

ジェンダーとダイバーシティ&インクルージョン*

◆これからのスポーツのあり方について

オリンピックに入っている競技ばかりがスポーツではありません。ハイキングや登山もあります。競うだけではなく、自然を感じて自分をリラックスさせながら鍛えることができるスポーツはたくさんあります。他にも、障害者と共に、誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」があります。石鹸をつけてつるつるしたボールを使うハンドボールとか、ブラインドサッカーなどです。オリンピックはどうしても競うことになりましたが、競うことばかりでは疲れてしまいます。一人ひとりにあった生涯スポーツを見つけてほしいと思います。

* 組織の中で多様性を認め、一人ひとりの違いを活かしていく考え方

ダンス等はとてもいいですよ。小中学校の体育の授業で、ダンスが必修科目になりました。全国の3500以上の総合型地域スポーツクラブでは、母娘でフラダンスをしたり、ヒップホップを楽しむ若者の姿が見られるようになってきました。ダンスを屋外で行うのも楽しいです。これまでダンスは、女子のものだと思われていたけど、男子も一緒にやるようになりました。

もともとスポーツは、遊びからきていますが、スポーツが、もともとと遊びに近づいていくと、誰もが楽しめるというスポーツの原点に近づく機会になると思います。

私は、とくに女性に生活の身近なところでスポーツをしてほしいと思います。子ども頃からやっていなければ、むずかしい種目もありますが、年齢に関わりなく始められるスポーツもあります。

女性とスポーツのテーマから言えば、自分にあつたス

ポーツを選び、自分なりに取り組むことが大事だと思います。男女共同参画は、一人ひとりが自分に合った価値を見出して、発揮していく、「みんな違ってみんないい」ということです。東京2020大会では、「ジェンダーとダイバーシティ&インクルージョン」を目標に掲げていますが、多様性が尊重されることが本当に大事です。身近な身体活動としてスポーツをする機会を見つけてほしいと思います。

◆オリンピックの男女の枠とLGBTQ*について

オリンピックでも馬術は男女の枠がありません。人馬一体で男女の違いはありません。楽しむのであればみんなに権利がありますが、順位を決めようとすると、競技に、トランスジェンダーの方が入るとむずかしくなってしまう。LGBTQ*に対しては、これからの課題と思いますが、一緒に楽しむ視点が大事です。

◆東京2020大会から考えることについて

東京2020大会をきっかけに、自分の中のスポーツに対する考え方を変えてくれたいと思います。一人ひとりがスポーツと向き合う時に大切なのは、自分の時間を持つことです。仕事の仕方や家事の分担等、一人ひとりが時間を作らなければスポーツはできません。自分の時間を作って、スポーツをすることは男女共同参画を進めることにつながっていると思います。1964年の東京オリンピック・パラリンピックは、時代がアクセルを踏むきっかけでしたが、今年の東京2020大会は、一人ひとりが大切にされる、働き方を考える、余暇や仕事の振り分けでも男女が共同する、LGBTQ*についても考える機会になってほしいと切望しています。それはきっと、これからの日本の社会を変えていくきっかけにもなる



2016年のリオデジャネイロオリンピックで取材する宮嶋さん

宮嶋泰子(みやじまやすこ)さん

1977年に全国朝日放送にアナウンサーとして入社。女性で初めてのスポーツニュースキャスターとなり、スポーツ中継も担当。1980年のモスクワから2018年平昌まで夏冬計19回のオリンピックを現地取材。パラリンピックも取材。特に女性スポーツの現場での取材経験は豊富。「ニュースステーション」等のスポーツ特集では、36年間にわたり、ディレクター兼リポーターとして企画立案・取材・編集の全過程をこなし、300本を超える作品を制作。2016年度(公財)日本オリンピック委員会・女性スポーツ賞受賞等。

* L: レズビアン(女性同性愛者)、G: ゲイ(男性同性愛者)、B: バイセクシュアル(両性愛者)、T: トランスジェンダー(体の性別と自認する性別が異なる人)、Q: クエッションング/クィア(性自認・性指向がよくわからない、性別規範に縛られない性のあり方)を指す言葉

監督が絶対に怒らない バレーボール大会を 企画した理由

ます こ なお み

益子直美さん (元バレーボール全日本代表選手)



毎年、福岡県等で「監督が絶対に怒らない」ことがルールの小学生のバレーボール大会が行われています。企画実施している益子直美さんに伺いました。

◆「監督が絶対に怒らないバレーボール大会」について

今年（2021年）で7回目を迎える大会で、正式名称は「益子直美カップ小学生バレーボール大会」と言います。今では毎回600人もの小学生が参加する大会になっています。

この大会では、参加するチームの監督は、試合中、選手を怒鳴っても怒ってもいけないというルールがあります。もしこれを破る監督がいれば、私が注意します。ひどく怒っている監督には、バツ印が書かれたマスクを付けてもらうこともあります。子どもたちにも、「監督が怒ったら知らせるんだよ」と声をかけます。監督が怒ったら、近くに寄り、子ども達の言葉を聞きます。「怒鳴られ怖くなった」「怒られることばかり考えてしまい、失敗してしまう」と言う子ども達に「一緒に考えて楽しもう」と声をかけると、監督の声でおびえていた子ども

達の顔がみるみる笑顔になって試合のムードが変わっていきます。

◆なぜこの大会を始めたのか？

このような大会を思いついたきっかけは、自分自身の体験からでした。実は私は、監督からほめられた記憶がありません。中学生の時から怒られ怒鳴られ、時にはぶたれて、「お前はメンタルが弱い」と自分を否定され続けてきました。いつもどうしたら監督に怒鳴られないようプレーできるかばかりを考えていました。高校生になって、全日本の代表に選ばれて合宿に参加するようになり、他のチームの指

導者にほめられることがあっても、「どうせ自分はダメ」と思いこんでまったく自信が持てませんでした。

企業のバレーボールチームに入っても、現役時代は、早く引退する事ばかり考えていました。優勝すれば引退を許してもらえます。そんな気持ちで頑張っていました。不思議に思いかもしれませんが、選手時代にバレーボールが楽しい、好きと思ったことがなかったのです。

引退してもオリンピックに行けなかったプレッシャーがあり、怒鳴られることへのトラウマが残っていて、自分に



益子直美 (ますこなおみ) さん

1966年、東京・葛飾区出身。53歳。共栄学園高では、84年春高バレーで準優勝。3年時に全日本に初選出。イトーヨーカドーでは89年度日本リーグで、チームを初優勝に導く。92年、現役引退。現在は、スポーツキャスター、タレントとして活動中。



「子どもを怒鳴ってはいけない小学生バレーボール大会」で、子ども達に声をかける益子さん

自信が持てないままでした。子ども達が怒鳴られる場面を目にすると、かつての自分と重なって、胸が苦しくなりました。どうしたらみんなが楽しいと思えるスポーツができるのかを考えているうちに、監督が絶対に怒らない大会につながっていったのです。

◆怒鳴らない監督のもとでの子ども達の変化は？

監督が怒鳴らず命令しなく

なると、子ども達は自分達で声を出し始めチームを盛り上げます。仲間の応援で失敗していたサーブが決まり始める子もいます。また、「監督が絶対に怒鳴らないから、今まで強気を出して打てなかったボールにチャレンジできた」「失敗したら怒られるから飛び込めなかったボールに食らいつくことができた」「監督が何も言わないから自分達で考えて声を出して頑張った」など、試合の後の子ども達の手紙からは、成長していく姿がわかります。子ども達が子どもながらに、自分達で考えることができるようになり、感動します。

このような子ども達の変化を監督たちに伝えます。すると「子ども達がそのように思っていたのか」と驚き、「子どもだから一から十まで全部教えないとだめだと思っていた。けれど、違うことがわかった」と、これまでの指導法を見直す監督も出てきました。

た。ただ「怒らない」とのルールがあるだけで、子ども達が成長し、大人達も変わっていく。本当にやってよかったと思います。

◆東京2020大会をきっかけに考えて欲しいことは？

勝つことだけを目指す、監督に怒られないようにするスポーツは、一人ひとりを大切にしていません。私は、引退後に、ゲイ*の人達と一緒にバレーボール大会を開いて、そのままの自分を認め合って楽しみました。そこで、自分

がバレーボールが好きだったという気持ちに気づきました。アメリカでは、指導者がスポーツを通して、この子が将来どのようなになりたいのかを考え、互いに向き合うコミュニケーションを大事にしています。誰もがオリンピックに行けるわけではありません。オリンピックがある今年、自分の体験から、心からスポーツを楽しむことを大事にする生き方や指導、スポーツ界のあり方を考えてほしいと思います。

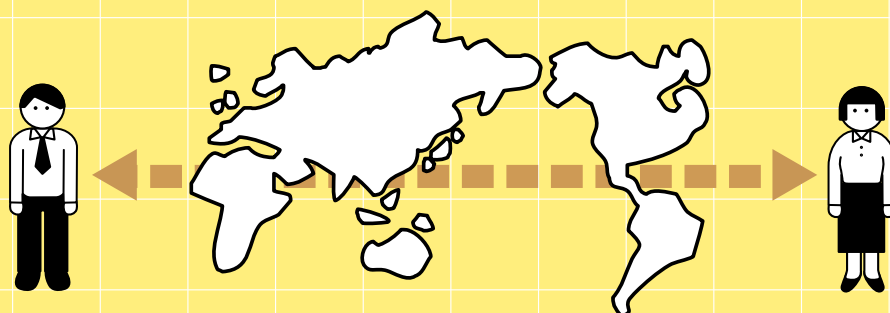
*男性同性愛者



「スポーツとジェンダー」を通しての気づき

コロナ禍で、1年延期となった東京2020大会。私たちにとって、スポーツを考える機会が多かった1年でした。スポーツ文化キャスターの宮嶋さんのお話からは、スポーツ界で女性が活躍するための歴史上の壁、いまだに残る課題について気づかされ、益子さんのお話では、ご自身の経験から、怒鳴る/怒る指導をやめることが、一人ひとりの力や可能性を拓くことを教えられました。お二人のキーワードは「スポーツを楽しむ」。楽しむ力が人を育て、つなぎ、差別や偏見を取り除き、男女共同参画社会に通じると感じます。

「ジェンダー・ギャップ (男女格差) 指数」 知っていますか？



■ジェンダー・ギャップ指数とは

世界経済フォーラムは、2005 年から毎年、世界各国の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表しています。この指数は、政治・経済・教育・健康 * の4分野のデータから作成され、指数の最大値は1で最小値は0、数値が大きいほど良好で男女格差が少ないことを示しています。

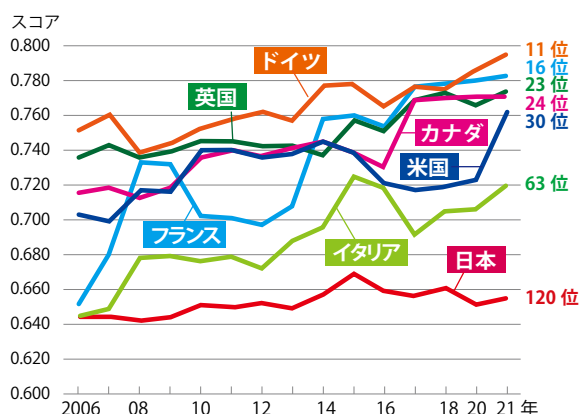
* 政治：女性議員比率など / 経済：給与格差・管理職比率・専門職や技術職の労働者数など / 教育：初等教育や高等・専門教育への就学など / 健康：平均寿命の男女比など

■ジェンダー・ギャップ指数120位の日本

2021 年発表のジェンダー・ギャップ指数をみると、日本は156 か国中 120 位（前回は 153 か国中 121 位）で、先進国では最低レベルでした。アジア諸国のなかでも韓国や中国、ASEAN 諸国より低い結果となりました。発表開始当初〔2005 年（2006 年発表）〕、80 位だった日本は、年々、ランクが下落する傾向にあります。

ジェンダー・ギャップ指数 (2021)

■世界 G7 のジェンダー・ギャップ指数の推移



日本は他の国と比べてジェンダーギャップが縮まっていないことがわかります

日本のジェンダー・ギャップ指数

分野	日本		世界 1 位
	スコア	順位	スコア
総合	0.652	120	0.892
経済	0.604	117	0.760
政治	0.061	147	0.915
教育	0.983	92	1.000
健康	0.973	65	0.980

出典：「共同参画」2021年5月号 内閣府男女共同参画局

日本はとりわけ政治分野での格差が大きいです



	議員数	うち女性議員数	比率
千代田区*	25	6	24.0%
東京都**	126	37	29.4%
衆議院***	465	46	9.9%

* 令和3年6月1日現在 ** 令和3年4月20日現在

*** 令和3年3月31日現在

今年は
2日間で
開催!

第9回 MIW 祭り



テーマ

10/1(金) 12:00~20:00、10/2(土) 10:00~14:00
九段生涯学習館

MIW 祭りは、地域で活動する MIW の登録団体が作るイベントで、「誰もが生きやすい、男女共同参画社会」について楽しみながら学べるお祭りです。今年のテーマには、わたしたちの日常の中にある「普通は〇〇だ」「それって常識だ」という、思い込みや偏見に、「それってなんか変じゃない?」と気付くことが、多様な社会、平等で開かれた社会につながるのでは、という思いが込められています。みなさんも MIW 祭りで、楽しく男女共同参画社会について考えてみませんか?

なんか変? “フツー”って何?
~それが未来を拓くカギ~



会場や
おうちで楽しめる
イベント

■ MIW 登録団体企画
ステージでの発表や、展示や動画、
ブースでの活動紹介など

■ クイズラリー
MIW 登録団体のパ
ネルを見て、クイズ
ラリーに参加して、
景品をゲット!



■ 様々なイベントを
オンラインでも配信します。

MIW 祭り講演会

宮嶋泰子さんをお招きして
「スポーツとジェンダー」に
ついてのお話を伺います。
今年は会場とオンラインで
参加できるイベントを企画
しています!

男女共同参画
川柳コンテスト

MIW 祭り
実行委員会のみなさん



実行委員会も万全の注意を払って行いました
(撮影時のみマスクを外しています)



「女らしさ」「男らしさ」「ワンオペ育児」「家事男子」「非正規労働」など、男女共同参画をテーマにした川柳作品を募集します。応募作品から入選作を選び、MIW 祭りで表彰! (応募締切 8月10日(火))
※募集については MIW ホームページやチラシをご覧ください

MIW インフォメーション

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます場合があります

MIW 講座

「コロナ下の女性への影響とこれから」

日時：令和3年8月18日（水）

種部恭子さん▼

19:00～20:30

講師：種部恭子さん
（女性クリニック We! TOYAMA 代表）

講座形式：オンライン講座
（Zoom 使用）

対象：在住・在勤・在学者
優先

申込みは7月5日から、MIW
まで



ビデオサロン

「ビッグ・アイズ」

絵画〈ビッグ・アイズ〉
シリーズの作者は、作家
として名乗っていたウォ
ルター・キーンではな
く、妻マーガレットだっ
た。60年代アメリカの
実話をドラマ化。

日時：

令和3年8月20日（金）

① 14:30～② 18:30～

会場：MIW交流サロン（区役所10階）

定員：各回15名（申込順／在住・在勤・在学者優先）
申込みは7月20日から、MIW まで



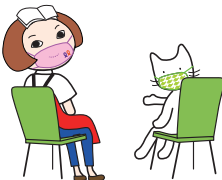
▲ジャケット

©Big Eyes SPV, LLC. ALL Rights Reserved.

MIW 相談室

予約専用電話 03-5211-4316

夫婦やパートナー、家族との関
係、人間関係、子育て、働き方、
ハラスメント、DV、性暴力、犯
罪被害、性自認・性的指向に関
することなど、困っていることが
あったら、一人で悩まずご相談く
ださい。予約制です。（区内在住、在勤、在学の方対象）



一般相談 火曜日・水曜日・金曜日 16:30～20:30

木曜日・土曜日 10:30～15:30

法律相談 毎月第2火曜日 13:00～15:30（女性のみ）

LGBTs相談 毎月第2・4木曜日 16:30～19:30



みなさまからの MIW 通信の感想、
MIW へのご意見など
お待ちしております。

←メールはこちらから



親子上映会&読み聞かせ

「レオ・レオニ 5つの名作集」

個性・知恵・勇気
などをテーマとした
5つのストーリーを
谷川俊太郎の翻訳
でお届けします。



▲ジャケット

日時：令和3年8月21日（土）

① 10:30～② 14:30～

会場：MIW交流サロン（区役所10階）

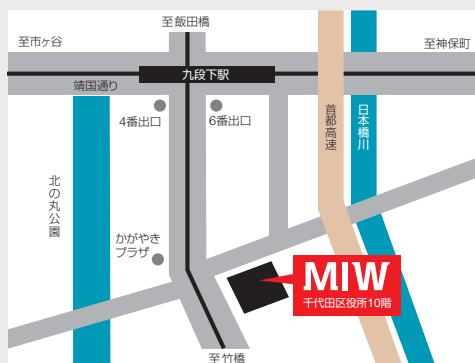
定員：各回親子4組

対象：在住・在勤・在学者優先

申込みは7月20日から、MIW まで

(c)1987 Giulio Gianini and Leo Lionni (c)2005,2011 Nora Lionni and Carla Rezza

千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)



所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩5分
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時 土曜日 午前9時～午後5時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
Eメール miw@city.chiyoda.tokyo.jp Facebook @chiyoda.miw
URL https://www.city.chiyoda.lg.jp 「暮らし・手続き」▶「男女平等・人権」▶男女共同参画センター MIW からお問い合わせください

編集後記

この度は MIW 通信第49号をご覧いただきありがとうございます。1年延期となった東京2020大会も気づけば開会間近となりました。今回はジェンダー平等の視点からスポーツ界における女性活躍の障壁や、これからのスポーツのあり方について取り上げました。コロナ禍でなかなか前向きになれない今だからこそ、スポーツの力が人々の心を動かしてくれることを信じてやみません。MIWでは男女共同参画社会の実現に向けた取り組みをこれからも続けてまいります。(T)

